

～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

◆VCN°33 ドメーヌ・ド・ベル・ヴェー

生産地方：ロワール

新着ワイン3種類♪

AC ミュスカデ・セーヴル・エ・メーヌ 2015 (白)

2015年は、ブドウに病気がなく収量も取れた近年まれにみる当たり年！ジェローム曰く、2005年や2009年、2015年など超当たり年のワインは、必ず余韻に上質なマールのような風味が長く残るのだそうだ！確かに、今回の2015年ワインは余韻にマールのようなフレーバーが長く残る！味わいも、いつも以上にしっかりとした強い潮のミネラルを感じる！この強い塩辛く味の強いミネラルが、生ガキはもちろん貝料理全般と相性が良さそうだ！

AC ミュスカデ キュヴェ・ガイア 2014 (白)

ジェローム曰く、2014年のワインは、バランスが良く今飲んでもガイアらしい上品に洗練された味わいを堪能できるが、熟成にも十分耐え得るとのこと！その証拠に、彼はガイアにおいては毎回熟成中に Tenue a l'air (酸化テスト) を行うが、2014年は特に酸化に強く持ちが良かったそうだ！実際、現地では開けたと3日前のワインを試飲させてもらったが、確かに3日前のワインも開けたと新鮮さはほとんど変わらなかった！むしろ空気に触れた3日目の方が余韻に底力を感じるところがスゴイ！

IGP ヴァル・ド・ロワール キュヴェ ミヤム・ミヤム 2015 (赤)

2015年は豊作&当たり年！ジェローム曰く、2015年は日照量にも恵まれ、ブドウがしっかりと完熟するまで収穫を待ったおかげで、通常カベルネに出がちなピーマンなどの青い香りのほとんどしない赤い果実全開のワインが出来上がったとのこと！また、例年よりも房が多かったため、ブドウが完熟してもアルコール度はそれほど上がらず、酸も適度に残り、最終的にはミヤム・ミヤムにふさわしい軽快なヴァン・ド・ソワフをつくり上げることに成功したとのこと！

ミレジム情報 当主ジェローム・ブレトドーのコメント

2014年は、結果的に当たり年だった！スタートは順調で霜もなく、開花もうまく行ったのだが、6月の終わりから一転天候が崩れ、気温の上がらない雨がちな日が続いた。7月に入り天気が一瞬戻ってきたが、8月に入ってから再び雨の多い天候に悩まされた。通常は、8月にはヴェレゾンが始まり、畑の散布も終わりののだが、2014年は8月から畑にミルデューが蔓延し始めたため、バカンス休日抜きでボルドー液散布を続けなければならなかった。だが、9月に入り再び太陽が戻ってきて、気温も夏日のように上昇し、ブドウの成長の遅れも無事取り戻すことができ、結果しっかりと完熟したきれいなブドウを収穫することができた！

2015年は、近年まれにみる当たり年！ヴィニョロンとしては、ほとんど畑仕事をしなくても良いくらい完璧な年だった！春は長雨や霜もなく穏やかな気候でスタートした。開花も順調に行き、6月の時点で豊作が期待された。その後、8月までほとんど雨が降らず、病気もほとんど見られなかった。雨が降らないので多少水不足が心配されたが、夏が比較的涼しかったので、日照りもなくそのままブドウもゆっくりと成長して行った。9月に入り適度に雨が降ってくれたおかげで、ブドウの成熟にエンジンがかかり、最終的には果汁豊かな傷ひとつない完璧なブドウを取り入れることができた！

「ヨシ」のつ・ぶ・や・き

ジェロームは認証こそないが今までも一部の畑でビオディナミを実践していたが、今年から正式に SIVCBD (Le Syndicat International des Vignerons en Culture Bio-Dynamique) が認証する Biodyvin (ビオディヴァン) を申請し、全ての畑をビオディナミに変えている！そして、ワインの品質向上のために今年また新たに 16 hL 卵型セメントタンクを 2 台と 20 hL の木桶タンク 1 台を導入した！ミュスカデ・ヴィエーユ・ヴィーニュ「ガイア」の成功以来、自らのスタイルに自信をつけた彼は、今飛ぶ鳥を落とす勢いで旧態依然としたミュスカデに新しい風を吹き込んでいる！

今回もミュスカデ「ガイア」の 2014 年とまだ卵型タンクに入っているシャルドネ「ジュスティス」の 2015 年を試飲させてもらったが、両方ともこれでもかと言わんばかりの上品なフィネスとエネルギーに満ち溢れていて、まるで彼の今の勢いがそのままワインに反映されているような印象を受けた！

特に彼の上級キュヴェは、「これが本当にミュスカデでつくられたワイン！？」と、良い意味で思わず目を疑ってしまうようなサプライズが必ずある！実際、彼自身もそこは相当意識をしているようだ。「一般的にミュスカデは『魚介に合うリーズナブルなワイン』というイメージがある」が、彼はその固定観念を打破し、ミュスカデのランクを上げていく使命感に燃えている！まだスタートに立ったばかりと謙遜するジェロームだが、私から見ると彼はもうすでにミュスカデのイメージ向上に一役買っていると思う。これからも先駆者として、ミュスカデの新しい扉を開いていってくれることだろう！

(2016.8.23.のドメーヌ突撃訪問より)